

フォトモザイクで諏訪を笑顔に

諏訪を繋ぐ2000枚



令和4年、諏訪フォトモザイク完成です。たくさんの笑顔、ありがとう。

林 咲心(はやし さな)
新潟県立直江津中等教育学校 1年

フォトモザイクで諏訪を笑顔に

諏訪を繋ぐ2000枚

林 咲心



活動概要

活動の内容

自身が生まれ育った「上越市諏訪」をテーマにしたフォトモザイクを作成しました。諏訪に住む方々全員でフォトモザイクを完成させるため、諏訪に住む方々全員にチラシを配り、写真集めの協力をお願いしました。9月から10月にかけて直接写真を受け取ったり、インターネットの写真添付機能を利用したりして写真を集めました。写真は2000枚程集まり、諏訪の景観や人々の笑顔、歴史が詰まったフォトモザイクを完成させました。さらに、完成したフォトモザイクは諏訪地区内、上越市内に展示してもらいました。

活動の特徴(新規性・発展性)

フォトモザイク作成のために写真を撮る事、完成した作品を見る事には「こんな場所があるのか」などと発見できることが沢山あり、諏訪への関心を増やし、諏訪の持続性を高めることに繋ぐ事がこの活動のポイントです。また、フォトモザイクは、みんなの写真が1つになるため、諏訪の心も1つに出来ると考えました。更に、体験活動等に興味が薄れている人や忙しく参加できない人も気軽に参加してもらえ活動だと考えました。

活動の成果

まだはっきり地域、社会が変わったかは分かりません。しかし、この活動をしてる時、応援の声を沢山いただいた事や、写真を提供して下さる方沢山いた事から、地域の人の心の繋がりが強くなったように感じます。また、完成したフォトモザイクを諏訪の人、諏訪以外の人に見せた時「諏訪っていいね」と言ってくれる人が多く、諏訪の魅力というものを以前より多くの人に伝えられたように感じます。

課題の設定と意図

私が取り上げた課題は地域の持続性が減少している事です。つまり、地域への関心が減っているという課題です。現在上越市諏訪では子供の人数が減少し続けており、現在の諏訪小学校の児童数が28名と上越市内で最も少ないです。そして、若者の移住や高齢化が見られ諏訪の持続性がますます減っているように感じます。今までこのことへ関心はあまりなく、大人の方々が何とかするのだらうと考えていました。しかし、自然の家でのフィールドワーク時に若者の地域への関心が薄れ地域の持続性がなくなっていること、この状況を解決するには 高校生の力が必要になっていることを学びました。そして、諏訪の持続性について考え始め、諏訪が消えることなく続いてほしいという願いが出来ました。高校生の自分の視点から地域に関心を持ってもらえる活動を考えることでこの願いの達成に向かえるのではないかと考えたため、この課題を選びました。また、地域から離れた場所を進学し、出身小学校を紹介したとき、諏訪というところを知っている人が少なく、驚きました。諏訪の魅力を伝えたいと思ったこともこの課題を取り上げたきっかけです。

課題解決のための仮説と計画

諏訪の持続性を高める、つまり諏訪への関心を上げるために次のことを仮説としました。

まず、小学生の放課後ゲーム時間が増え、諏訪と触れる時間が減りつつあります。学校で配布されたタブレットを活用し、小学生自身で諏訪の写真撮ることで、諏訪に関わる時間や新しい発見が増え、自分が住む諏訪への関心を上げられるのではないかと考えました。

次に、中学生、高校生になると学校が忙しくなったり、地域への関心が薄れたりして地域主催の活動に参加しなくなっています。写真を撮るという気軽のできる活動なら参加してもらえるのではないかと考えました。また、気軽に参加出来るようにする方法の1つとして、二次元コードを読み取ってもらいフォームに写真添付出来るようにするという計画を立てました。しかし、チラシを見なければこの活動を知ってもらうことが出来ないと感じ自身SNSを通じ、友達から友達へ伝わるようにしました。

そして、写真を撮りに行く中で自然や人へ五感を感じ、諏訪の素晴らしさを発見できると仮説し、諏訪の魅力だと思ったところ写真を撮るということを取り入れました。しかし新たに撮影した写真だけでなく、昔の写真にも魅力の詰まったものが沢山あるため、昔の写真も集めることにしました。

また、みんなでひとつの作品を作るという活動は、協力し合ったり、自分の諏訪への思いを共有したり出来るため、地域の人の心もひとつにし、地域の持続性を高めることに繋がります。合わせて、諏訪をひとつの作品にすることで、今の街並みを将来、記憶に残せると仮定したことから、集めた写真をフォトモザイクにするという活動を計画しました。

更に、完成したフォトモザイク(諏訪の魅力)を諏訪以外の場所で展示することで諏訪の魅力を広められると仮定しました。そのため、市内の市役所や物産センターで展示するという計画を立てました。



活動で工夫できたこと

私は、オリエンテーション合宿時、地域の農業を活性化させている塚田さんから活動をするには組織との繋がりが、政府からの支援も大事になるというのを聞き、地域活動において、人との関わりも大切だと知りました。そのため、実践活動は決して自分一人で行うのではなく、地域の人とコミュニケーションを取りながら進めました。諏訪は、みんな顔を知っている存在であるため、会う人会う人に「こんな活動をしたい」と伝えた後にすぐに違う人にも伝わり、この活動を広めることが出来ました。そして、アドバイスや分からないことを地域の方に聞き、自分の活動状況に対する課題を見付け、直し、より良い活動を目指しました。例えば、写真を集めるとき、携帯で二次元コードを読み取り、写真を添付して送ってもらう方法を考えました。携帯のない方々は写真が送れないことを指摘してもらい、どうやったら写真を送ることが出来るかを一緒に考えてもらいました。1人で行っていたら気づかなかったことであり、コミュニケーションを取りながら行うという合宿での知識を活かすことが出来ました。

また、自分自身、学校のことはばかり考えていたため小学校卒業以降、地域で実施されている活動に参加してきませんでした。しかし、何か新しいことにチャレンジしたいと思ったことをきっかけに参加した合宿では、誰かと活動することは楽しい事、地域の活動に参加することで自分の地域について深く考えるきっかけになると気づきました。これを自分の住む地域の同年代の人にも知ってもらいたい、自分のように最近地域での活動に参加出来なかった同年代の人がどうやったら参加しやすくなるかと考えました。そこでスマホを使っている若者が多いことを利用した活動を考えました。参加して下さったのは小学生や大人の方が多かったけれど、「地域について考えないとだ」と言ってくれた同級生がいて嬉しく思いました。



活動で得た学び・気づき

最大の学びは「人」の温かさや豊かさです。合宿では、2人の講師からお話を聞きました。プロスノーボーダーで子供と自然を繋ぐ遊び場をつくっている小西さんはご自身の趣味を地域の活性化に繋げていたため、お話をしていると生き生きとしていました。私もこんな生き方をしたいと感じました。坂口げんき農場の塚田さんは新たな農作物を考えたり、農業への関心を高める活動をしています。活動を成功させるため、日々考え、実践していることを実際自分の目で見た時に感じました。地域活性化に向け努力している人がいると知り、私自身も地域をひとつごとのように思っていけないと感じるきっかけになりました。合宿に参加したメンバーはみんな私と違う考えを持っていました。解決したい課題は同じでも解決する方法が違ったり、活動を通して感じたことはみんな違ったりしました。こんな考えがあるのかと気づきばかりで人とコミュニケーションをとる大切さに気づきました。また、合宿の場所には、アドバイスして下さる方が沢山いました。実践活動について考えた時、「地域の風景だけでなく、地域の人の写真もいれるといいよ」というアドバイスがあり、それによってより良い実践活動になりました。指摘して下さる人がいて成長できると感じました。そして、不安ばかりでしたが自分の生まれ育った「諏訪」で実践活動をする決めました。当然初めての試みであるため何から始めればよいか分かりませんでした。しかし、協力者にお願いしたとき、温かい心で受け入れてくれたため、何よりうれしかったです。そして、計画と一緒に考えてくださったり、地域への呼びかけを手伝ったりしてくださったりと沢山の協力をいただきました。普段、何かをするとき1人でしようとしてしまうけれど、人に頼らなければいけないこともあると学びました。そして、諏訪に住む沢山の人が「応援しているよ」「頑張れ」と言った言葉をいただきました。お話ししたことのない方からもいただきました。直接ではなくても「こんな声が聞こえてきたよ」というお話しも頂きました。諏訪の方々との温かさに改めて気づきました。自分の周りは温かい人に囲まれていました。感動ばかりです。活動へアドバイスして下さる方もいました。自分だけでは気づかない的確なアドバイスであり、地域には素晴らしい方ばかりだと気づきました。フォトモザイク作成に向け、写真は始め1000枚ぐらいしか集まりませんでした。足りないためもう一度お願いしたところ、沢山の人が追加で提供してもらうことが出来ました。このような地域の方々の支えや思いやりがあってこそこの活動は成功しました。すべての人に感謝をしたいです。思いやりの心や、チャレンジの心など自分にはない心を持った人と関わる中で、人がいるからこそ地域が動いていると感じました。人との関わり、関わってくれた方への感謝を忘れてはいけないと学びました。

今後の展望・新たな取組み

私は今回、高校進学したときには考えていなかったようなチャレンジをしました。自分で活動を考えて実践し最後までやりきったということに自分自身が1番驚いているように感じます。同時に、最後までやり切れたのは関わる全ての人の支えがあったからだと思います。また、諏訪が好きという気持ちがあったからだと思います。まずは、今回の活動に関わってくれた方々に感謝をしたいです。そのために、これからも地域を守り続けます。日頃からあいさつをしたり、ゴミを見たら捨てたりと小さなことでも地域をよくするためにできることは沢山あるように感じます。誰かがやっているから自分もやりたくなる。これも今回の活動で人と関わった時に感じた事です。自分から積極的に地域を守る行動をし、他の人、他の人へと動くことで小さな活動から大きな活動へ繋がってほしいです。更に、今回の活動後、地域の方に地域活性化に向けた手伝いをしてほしいというお話をいただきました。このような依頼を受けた時には、今回温かく活動を受け入れて下さった方々のようにあたたかい心で参加していきたいです。そして最後には「ありがとうございました。」という言葉大切にします。今回の活動で何度も「ありがとう」と言い、「ありがとう」と言われました。この言葉で私も相手もあたたかくなりました。したがって、「ありがとう」という言葉は地域の人同士も地域も明るくしました。「ありがとう」をこれからも伝え合い、地域を守り続けたいです。私はこの活動をしながら、どうやったら地域が持続するか考えていました。皆さんはどうしたら地域が持続すると思いますか。私は、今の地域の人の心を次世代に繋ぐことだと考えました。絶えることなく地域の人と挨拶をする、地域の活動に参加する、思いやりのある行動をする、などなど今の大人の方々がしていることを子供である私も続けていくことが大切だと思います。つまり私は、沢山の人の関わりながら、いろいろな人の生き方や思いを学び、自分にも取り入れ、次世代に繋げていけるような生き方をしたいです。また、何をするとともに、関わっていただく人がいるため、決してあきらめてはいけません。私は挑戦したまま投げやりにしてしまうことがあります。しかし、今回の活動を通し、支えてくれる人がいて、感謝をしなければならぬことを学んだ今、最後までやり切ることを目標にしていきたいです。私には今小さな夢から大きな夢まであります。成功するか、失敗するかはわからないけれど挑戦、努力をし続けたいです。好きであるからこそ続けられることもあります。諏訪が好きであり、みんなにも知ってほしいという気持ちがあったためこの活動を最後まで出来ました。興味のない事にも目を向け、発見を増やし、好きなことに変え、挑戦、継続のきっかけにしていきたいです。

1. 地域探究アワードエントリー情報

| | | | | | |
|----------|-----|---------|----|------|--------|
| エントリー希望 | 有 | エントリー単位 | 個人 | ブロック | 関東・甲信越 |
| グループメンバー | 氏名① | | | 氏名③ | |
| | 氏名② | | | 氏名④ | |

2. オリエンテーション合宿及び実践活動の基本情報

| | | | | | |
|-------------|---|----------------|-----------|----------------------|---|
| 合宿実施先 | 国立妙高青少年自然の家 | 修了日 | 2022/7/31 | カリキュラムのタイプ | A |
| フィールドワークの内容 | 妙高市の坂口げんき農場に行き、地域の農業を持続させる工夫を学んだ。その中で、若者の農業、さらに地域への関心が薄れており、地域の持続性が減っているという課題を見つけた。 | | | | |
| 実践活動期間 | 2022/8/3 ~ 2022/11/20 | | | | |
| 活動のタイプ | 新たな活動 | | | | |
| 協力者 | 主な協力者 | | | 協力内容 | |
| | 所属 | 新潟県上越市立諏訪小学校校長 | | チラシ・完成品印刷、実践活動時の運営補助 | |
| | 氏名 | 二瓶昭夫 | | | |
| | 所属 | 諏訪地区公民館主事 | | 実践活動時の助言 | |
| | 氏名 | 西島明子 | | | |
| | 所属 | 諏訪地区在住 | | 実践活動時の助言、写真集めの方法助言 | |
| 氏名 | 寺田寛 | | | | |
| 協力者総数 | 8名 | | | | |

3. 実践活動の記録

(1)総活動日数 全16日

| | | | | | |
|-----------|----|-----------|----|-------------|----|
| 事前:準備・打合せ | 7日 | 本番:メインの活動 | 5日 | 事後:ふりかえり・報告 | 4日 |
|-----------|----|-----------|----|-------------|----|

(2)活動成果の発信等

| 媒体 | 方法 | 回数 | 概要・備考 |
|-----|-------|----|----------------------|
| 新聞 | 取材された | 1回 | 地元の新聞社から取材を受け、掲載された。 |
| SNS | 自ら発信 | 1回 | 地元のSNSを通じて活動を発信した。 |
| | | | |

(3)主な活動記録

| 活動日時 | 区分 | 活動場所 | 活動内容 |
|-------------|-------------|-----------|--|
| 8/4 ~ 8/4 | ①事前学習・打合せ等 | 上越市立諏訪小学校 | 実施計画を立て、実施内容や準備するものを確認した。 |
| 8/21 ~ 8/21 | ①事前学習・打合せ等 | 諏訪地区公民館 | 地域主催の活動に参加し、地域の良さや課題を改めて考えた。 |
| 9/18 ~ 9/18 | ①事前学習・打合せ等 | 諏訪地区内 | 活動依頼文書の配布依頼を各町内会長にお願いした。 |
| 9/25 ~ 9/25 | ②実践活動本番 | 諏訪地区内 | 諏訪地区の人から諏訪の写真を集めた。 |
| 11/4 ~ 11/4 | ③事後打合せ・報告会等 | 上越市 | 完成品を諏訪地区内、上越市内展示場に展示し、諏訪の魅力やこれまでの感謝を伝えた。 |